

珠洲市まち・ひと・しごと創生総合戦略の達成状況について（令和6年度）

「珠洲市まち・ひと・しごと創生総合戦略」【計画期間 2020年度（令和2年度）～2024年度（令和6年度）】の令和6年度における達成状況を取りまとめました。

1. 令和6年度における達成状況に対する評価

珠洲市まち・ひと・しごと創生総合戦略において示している「数値目標及び主な重要業績評価指標（KPI）」の24指標について、令和6年度の実績に基づいた内部評価を実施しました。

評価の区分については、以下の4区分で実施しました。

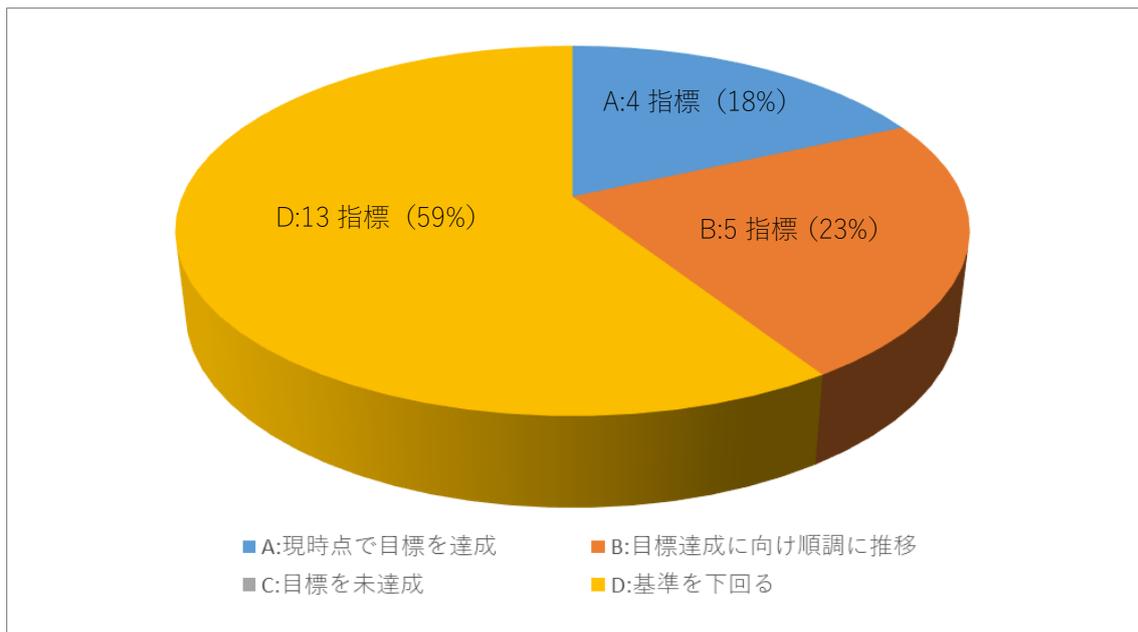
評価	達成状況
A 現時点で目標を達成	達成割合 100%以上
B 目標達成に向け順調に推移	達成割合 50%以上 100%未満
C 目標を未達成	達成割合 0%以上 50%未満
D 基準値を下回るもの	達成割合 0%未満

2. 評価結果の概要

今回の評価指標中「主観的幸福度」及び「公共交通の充実に関する満足度（幸福度調査）」については、令和5年奥能登地震や令和6年能登半島地震、奥能登豪雨の影響を鑑み、幸福度調査を実施しないこととしたことから、「現時点で評価できないもの」として取り扱い、評価の対象外とします。

評価については、「A 現時点で目標を達成」したものが4指標、「B 目標達成に向け順調に推移」したものが5指標、「C 目標を未達成」のものが0指標、「D 基準値を下回るもの」が13指標、「－ 現時点で評価できないもの」が2指標となりました。「－ 現時点で評価できないもの」の2指標を除き、24指標中22指標について評価することとします。

その結果、「A 現時点で目標を達成」と「B 目標達成に向け順調に推移」を合わせた「現時点で目標を概ね達成」している指標は22指標中9指標であり、全指標に対する割合としては41%となっています。



また、令和6年度の基本目標別の評価結果については、以下のとおりです。

基本目標	達成度割合			
	A 現時点で 目標を達成	B 目標達成に 向け順調に推移	C 目標を 未達成	D 基準値を 下回る
1 だれもが活 き活きと暮らせ るまち	1	1	0	3
2 ふるさとの 未来を育むまち	0	1	0	4
3 人をひきつ ける魅力あるま ち	0	2	0	3
4 みんなが活 躍できる活力あ るまち	2	0	0	3
5 幸せを感じ られるまちの基 盤づくり	1	1	0	0
1～5の合計 (23指標)	4	5	0	13
割合	18%	23%	0%	59%

令和6年能登半島地震や奥能登豪雨の影響が大きく、「障がい者の就労による社会参加」や「若者のチャレンジに対する支援数」、「大学連携のプロジェクト数」など、生活や新たな取組みに関する項目は落ち込んでいるものと考えられます。一方で、「介護予防事業を実施する拠点施設数」や「市内における新規創業・開業数（累計）」など、地震や豪雨を機に実績が上向いた項目もあります。

次に、第2期珠洲市まち・ひと・しごと創生総合戦略【計画期間2020年度（令和2年度）～2024年度（令和6年度）】の各年度の

評価の推移は以下の通りです。

基本目標1 だれもが生き活きと暮らせるまち

項目	基準値(H30)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	現在値(R6)	目標値(R6)	達成割合	所管課	R6	R5	R4	R3	R2
特定健康診査受診率	56.0%	50.1%	51.1%	53.7%	45.8%	33.2%	60.0%	55%	市民課	D	D	D	B	A
障がい者の就労による社会参加者数	70人	68人	66人	69人	73人	54人	88人	61%	福祉課	D	B	D	D	D
介護予防事業を実施する拠点施設数	30か所	30か所	29か所	29か所	29か所	45か所	35か所	129%	福祉課	A	D	D	D	B
認知症サポーターの数	1,669人	1,699人	1,699人	1,707人	1,717人	1,717人	1,800人	95%	福祉課	B	B	B	B	B
公民館事業開催回数（主催事業、共催事業）	1,915回	1,240回	1,346回	1,664回	1,045回	427回	2,000回	21%	教育委員会事務局	D	D	D	D	D

評価A:	達成割合100%以上
評価B:	達成割合50%以上100%未満
評価C:	達成割合0%以上50%未満
評価D:	基準値を下回っているもの
評価-:	現時点で評価が出来ないもの

	数値目標（主なもの）
	主な重要業績評価指標（KPI）
	前年度から評価が変わった項目

基本目標2 ふるさとの未来を育むまち

項目	基準値(H30)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	現在値(R6)	目標値(R6)	達成割合	所管課	R6	R5	R4	R3	R2
合計特殊出生率	-	-	-	-	1.56	1.56	2.07	75%	企画財政課	D	D	-	-	-
出生数	41人	42人	50人	45人	29人	35人	58人	60%	企画財政課	D	D	B	B	B
子どもセンターの利用者数	9,617人/年	4,409人/年	6,043人/年	5,399人/年	4,522人/年	6,916人/年	10,000人/年	69%	福祉課	D	D	D	D	D
図書館の来館者数	11,930人	47,376人	48,659人	45,170人	40,156人	39,747人	70,000人	57%	教育委員会事務局	B	B	B	B	B
若者のチャレンジに対する支援件数	0件	1件	1件	2件	3件	0件	5件	0%	まちづくり相談室	D	B	B	C	C

基本目標3 人をひきつける魅力あるまち

項目	基準値(H30)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	現在値(R6)	目標値(R6)	達成割合	所管課	R6	R5	R4	R3	R2
本市への転入者数	234人 (H27～H30の平均)	214人	243人	226人	230人	230人	295人	78%	企画財政課	D	D	D	B	D
伝統・地場産業事業所数	36事業所	36事業所	38事業所	37事業所	30事業所	30事業所	36事業所	83%	産業振興課	D	D	A	A	A
奥能登国際芸術祭の来訪者数（延べ）	延べ0.8万人	延べ0.1万人	延べ5.0万人	延べ6.1万人	延べ11.5万人	延べ11.6万人	延べ20.0万人	58%	芸術文化創造室	B	B	C	C	D
大学連携のプロジェクト数	5件	5件	5件	5件	5件	2件	5件	40%	企画財政課	D	A	A	A	A
環境教育に関する講座などの開催回数	1回	1回	1回	1回	1回	1回	2回	50%	自然共生室	B	B	B	B	B

基本目標4 みんなが活躍できる活力あるまち

項目	基準値(H30)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	現在値(R6)	目標値(R6)	達成割合	所管課	R6	R5	R4	R3	R2
交流人口数（観光入込客数）	1,062千人	579千人	614千人	680千人	725千人	176千人	1,300千人	14%	観光交流課	D	D	D	D	D
産地戦略作物（かぼちん、ブロッコリー、大納言小豆、山菜）の出産額	264百万円	225百万円	154百万円	179百万円	219百万円	120百万円	270百万円	44%	産業振興課	D	D	D	D	D
道の駅や寄り道パーク等における特産品の販売数	247百万円	129百万円	159百万円	207百万円	227百万円	127百万円	250百万円	51%	産業振興課	D	D	D	D	D
市内における新規創業・開業数（累計）	23店舗 (H27～H30)	4店舗 (R2)	18店舗 (R2～R3)	24店舗 (R2～R4)	24店舗 (R2～R5)	27店舗 (R2～R6)	20店舗 (R2～R6)	135%	産業振興課	A	A	A	B	C
地域資源活用型ビジネスの育成数	3件	4件	5件	5件	5件	5件	5件	100%	産業振興課	A	A	A	A	B

基本目標5 幸せを感じられるまちの基盤づくり

項目	基準値(H30)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	現在値(R6)	目標値(R6)	達成割合	所管課	R6	R5	R4	R3	R2
主観的幸福度	6.49	-	6.70	-	-	-	6.70	-	企画財政課	-	-	-	A	-
地区防災計画策定数	0地区	0地区	2地区	2地区	5地区	5地区	10地区	50%	危機管理室	B	B	C	C	C
公共交通の充実に関する満足度（幸福度調査）	2.9	-	2.8	-	-	-	3.0	-	企画財政課	-	-	-	D	-
実質公債費比率	13.6%	13.7%	13.6%	13.6%	14.1%	15.1%	18.0%未満	119%	企画財政課	A	A	A	A	A

評価に基づく各基本目標の概要は、以下の通りです。

基本目標 1: だれもが生き活きと暮らせるまち

- ・ **特定健康診査受診率**：令和 4 年度 53.7%をピークに令和 6 年度は 33.2%と減少し、目標値の 60%に達せず。
- ・ **障がい者の就労による社会参加者数**：令和 5 年度 73 人と改善傾向にあったが、目標値の 88 人に達せず。
- ・ **介護予防事業拠点施設数**：応急仮設住宅の集会所などでも開催されるようになったことから、令和 6 年度 45 か所で目標値の 35 か所を大幅に超え、達成割合 129%。
- ・ **認知症サポーター数**：達成状況は安定しており、令和 6 年度 1,717 人（目標値 1,800 人）と達成割合 95%でほぼ目標に近い。
- ・ **公民館事業開催回数**：令和 2 年度から徐々に改善傾向が見られたものの、地震の影響により、令和 6 年度は 427 回と目標を大幅に下回り、目標値（2,000 回）に達せず。

基本目標 2: ふるさとの未来を育むまち

- ・ **合計特殊出生率**：現状維持（令和 6 年度 1.56）、出生数の減少傾向が課題。
- ・ **出生数**：合計特殊出生率と同様に、出生数の減少傾向が課題。
- ・ **子どもセンター利用者数**：コロナ禍や地震の影響もあり利用者数が不安定で目標値（10,000 人）に達せず。
- ・ **図書館来館者数**：コロナ禍や地震の影響により令和 6 年度 39,747 人で目標値（70,000 人）に達せず。
- ・ **若者のチャレンジに対する支援件数**：令和 6 年は地震の影響により新たな取組みがなく、目標値（5 件）に達せず。

基本目標 3: 人をひきつける魅力あるまち

- ・ **転入者数**：コロナ禍や地震の影響はあるものの、緩やかな増加（令和 6 年度 230 人）で基準値（234 人）とほぼ同等であるが、目標値（295 人）に達せず。
- ・ **伝統・地場産業事業所数**：減少傾向（令和 6 年度 30 事業所）。基準値（36 事業所）からの低下が目立つ。
- ・ **奥能登国際芸術祭来訪者数**：芸術祭開催年度には約 5 万人の来訪者があるも、コロナ禍や地震の影響もあり、目標値（20 万人）に達せず。
- ・ **大学連携のプロジェクト数**：震災前までは目標値を維持するも、地震の影響もあり目標値（5 件）に達せず。
- ・ **環境教育に関する講座などの開催回数**：1 回を維持するも、目標値（2 回）に達せず。

基本目標 4: みんなが活躍できる活力あるまち

- ・ **交流人口**：コロナ禍での外出機会の減少や地震の影響により、観光入込客数は大幅な減少（令和 6 年度 176 千人）。目標値（1,300 千人）に達せず。
- ・ **産地戦略作物の出荷額**：コロナ禍での外食需要の低下や地震の影響により、目標値（270 百万円）に達せず。

- ・道の駅や寄り道パーキングにおける特産品の販売数：コロナ禍での販売需要の低下や地震の影響により、目標値（250 百万円）に達せず。
- ・新規創業数：令和 6 年度 27 店舗で目標値を超え、達成割合 135%。
- ・地域資源活用型ビジネスの育成数：累計 5 件で目標値達成（100%）。

基本目標 5: 幸せを感じられるまちの基盤づくり

- ・主観的幸福度：地震や豪雨の影響を鑑み幸福度調査を実施せず、評価不能。
- ・地区防災計画策定数：達成割合は 50%となるも、基準値（0 地区）から 5 地区増加。
- ・公共交通の充実に関する満足度：幸福度調査未実施のため評価不能。
- ・実質公債費比率：令和 6 年度は 13.6%で安定的に推移。目標値（18%未満）を大きくクリア。

各目標の達成や未達成などのまとめについては、以下の通りです。

達成：介護予防事業施設数、新規創業、地域資源活用に関する項目は目標値を超えており、取り組みが成果を上げている。

未達成：健康診査受診率、図書館と子どもセンターの利用促進、観光や転入者数の増加に関する項目については、未達成となっている。

全体的な傾向：長期的な成功例もある一方で、コロナ禍や令和 5 年奥能登地震、令和 6 年能登半島地震、奥能登豪雨の影響により、人口減少や地域資源そのものに関する取組みについては減少している。

以上の様々な未達成項目があり、本来であれば未達成項目の重点的な取組みが必要ではありますが、令和 6 年能登半島地震や奥能登豪雨の影響により、今後 5 年間は災害からの復旧・復興を重点的に取り組む必要があるため、第 3 期「珠洲市まち・ひと・しごと創生総合戦略」【計画期間 2025 年度（令和 7 年度）～2029 年度（令和 11 年度）】は、「珠洲市復興計画」との整合をとった計画としました。

第 3 期「珠洲市まち・ひと・しごと創生総合戦略」における基本理念は、「魅力ある最先端の珠洲市を目指して 次の世代に引き継ぐことのできる持続可能なまちづくり」とし、能登半島の先端に位置する本市において古から受け継がれてきた里山里海の営みの再生をベースに、近年取り組んできた大学と連携した人材育成事業やSDGsの推進、トキの放鳥に向けた取り組み、日本中央競馬会の引退競走馬を活かす取り組み、奥能登国際芸術祭などを復興への光として、アートや先駆的な技術を取り入れ、さらに次の世代に引き継ぐことのできる、より強靱で安全な新たな地域づくり、より生産性の高い生業（なりわい）づくりを目指します。

また、復興への進め方としましては、市民の皆様や関係の皆様とともに考え、議論し、誰一人取り残すことのない持続可能な復興に向けて連携して進めていきます。

本市の取り組みが、今後の我が国のあり方を指し示すこととなるよう、魅力ある最先端の復興を成し遂げます。